

# 数 学 科

## 第1項 はじめに

2年生では教科書、参考書を使って、学習を自分で進めていく力をより高めることを目標としています。自分で学習する力が高まれば、学校の授業の内容をより深く理解することができ、数学の面白さを感じられるようになるでしょう。

## 第2項 2学年での数学の学習

### ○ 習熟度別授業

2年生になると、学ぶ量が増加し授業内容も難しくなります。数学Ⅱでは、生徒の学習到達度に応じて、週3時間の授業を、2クラス3展開の習熟度別に分けて行います。きめ細かく各生徒の学習に対する理解度を確認し、授業を進めていきます。必要に応じて学期ごとに、クラス編成を変更します。

### ○ 週末課題・確認テスト

日々の学習に取り組めるように数学科として課題を出します。また、単元や各章の区切りごとに、中テストを実施し基本事項の定着を図ります。定期考査と同様にしっかり学習してください。

### ○ 補習授業

中テストや定期考査で成績の振るわなかった生徒に対しては、放課後などを利用して追試験および補習授業を設定しています。また、定期考査前には、学習している内容でわからない部分の質問や解説など、補習を設定しています。

### ○ 長期休業期間の宿題、宿題テスト

長期休業期間に、これまで学んだ内容の復習を目的として宿題を課します。また、学期の始めには宿題テストを実施しています。これまでに学んだ内容を忘れないように、また、これからの学習内容をより深く理解するために必要なものです。計画的に取り組んでください。

## 第3項 教材とその活用法

### ○ 教科書 高等数学 数学Ⅱ、数学B（数研出版）

授業で使います。高校で学習する最も基礎的なものですから、内容はすべてマスターしてください。

### ○ 問題集 新課程 教科書傍用 サクシード 数学Ⅱ+B（数研出版）

教科書の内容を確実に身につけ、応用問題にも対応できる教材です。必要に応じて授業でも解説します。また、定期考査ごとに演習ノートを提出し、取り組みを評価します。

### ○ 参考書 新課程 チャート式 基礎からの 数学Ⅱ+B（数研出版）

教科書の内容をさらに深く理解するとともに、発展した内容を学習するための教材です。すべての内容を身につけることができれば、国公立・私立大学入試問題にも対応できます。

## 第4項 評価の観点

### ○ 関心・意欲・態度

数学の論理や体系に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用し、数学的論拠に基づいて判断しようとしているかどうか。

### ○ 数学的な見方、考え方

事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けているか。

### ○ 数学的な技能

事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けているか。

### ○ 知識・理解

数学における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し知識を身に付けているか。